

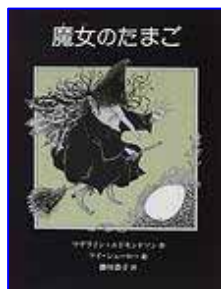
魔法の本 ~ 3, 4年生へ~

八千代市立図書館

魔女のたまご

マデライン・エドモンドソン / 作 掛川恭子 / 訳
あかね書房 [933 エ]

へそ曲がりのおばあさん魔女の名はアガサ。仕事は夜、ほうきにのって街の人をこわがらせること。そんなアガサの家に鳥がたまごを産みつけたからさあ大変。たまごから育ったマジヨドリと毎夜魔女の仕事を楽しんでいましたが、マジヨドリはわたり鳥で南へ行ってしまう。のこったアガサは・・・。



大どろぼうホッツェンプロッツ

プロイスラー / 作 中村浩三 / 訳
偕成社 [943 プ]

ある日、カスパールのおばあさんが大切にしていたコーヒーひきが、大どろぼうホッツェンプロッツにぬすまれてしまいました。それをきいたカスパールはコーヒーひきを取り戻すため、友だちのゼッペルと力を合わせてホッツェンプロッツをつかまえに行きます。



おとなりさんは魔女

ジョーン・エイキン / 作 猪熊葉子 / 訳
岩波書店 [933 エ]

アーミテージ夫人は、海で願いのかなう石をみつけてたいくつしないよう願いをかけます。するとアーミテージ家では毎週月曜日がふつうでない日になりました。ユニコーンがきたりゆうれいの家庭教師があらわれたりと変な事ばかりおこります。



霧のむこうのふしぎな町

柏葉幸子 / 作 講談社 [913 カ]

かさを追いかけて霧の中を進むと、そこには小さな町がありました。

リナは、お父さんのすすめで小学6年生の夏休みを霧の谷で過ごすことになりました。しかし、ここに住んでいる人たちは少し変わっているようです。



まほうの馬

A・トルストイ / M・ブラートフ / 文
高杉一郎 田中泰子 / 訳 岩波書店 [983 ト]

3兄弟の末息子は、ばかのイワンとよばれていました。ある時、畑をあらしにきたまほうの馬をつかまえます。しばらくすると、お城の高い塔にいる姫のゆびわを取ると姫と結婚できるという王様のおふれが出ます。イワンはまほうの馬の助けをかりて姫と結婚できるのでしょうか？



まほうのレンズ

リチャード・ヒューズ / 作 矢川澄子 / 訳
岩波書店 [933 ヒ]

私の知り合いの男の子はいつもくずかごの中を気にしています。だって、ときどきすてきなものが見つかるから。男の子は、くずかごの中から懐中電灯についていたレンズのようなものを見つけます。そのレンズはふしぎなレンズで、レンズをのぞくと・・・。



~ほかにも、魔法の本~

- ・魔法のスリッパ ディック・キング=スミス / 作
あすなる書店 [933 キ]
- ・ふしぎの時間割 岡田淳 / 作・絵 偕成社 [913 オ]